

調布教会 教会学校 週報

2024年度 みことば



「私はこの目であなたの救いを見た」
ルカによる福音書 2章 30節より

教会学校礼拝プログラム

2025年1月19日

前奏
*賛美

「さあ、ともにいきよう」 こどもさんびか改訂版122

お祈り

天の父なる神さま。御名をあがめ賛美いたします。今週も招かれて礼拝をおさげすることができますことを感謝いたします。戦争や貧困、災害など困難をかかえている人たちを覚え、誰もが神さまから愛されている存在として大切にし合える世界が来ますように。このお祈りをイエスさまのお名前によってお祈りいたします。アーメン

聖書
交読詩編

使徒言行録 8章 26～40節 [聖書協会共同訳 新約聖書P224]

(19) 詩編139より (こどもさんびか P. 210)

説教

「喜びの道」

フィリポさんがある日、天使のお告げでガザに向かっていました。そこにはエチオピアの高官が聖書を読みながら頭を悩ませていました。彼は家族を持たない孤独と神様に見放されているんじゃないかという不安を抱えていました。そんな時にフィリポさんが来て聖書を通してイエス様の十字架と赦しのことを高官に教えたところ、高官はイエス様の救いを信じ洗礼を受けました。彼にはもはや孤独感はありません。神の家族に加わったからです。皆さんも孤独や不安を抱えた時は教会に来て聖書を読んでみてください。

暗唱聖句

宦官はもはやフィリポの姿を見なかったが、喜びに溢れて旅を続けた。
使徒言行録 8章 39節 b

黙想タイム

*賛美

「聞けよ、愛と真理の」 (讚美歌21-403)

献金と感謝のお祈り 24-1

*主の祈り

天にまします我らの父よ。願わくは御名をあがめさせたまえ。御国を来たらせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を今日も与えたまえ。我らに罪を犯すものを我らが赦すごとく、我らの罪をも赦したまえ。我らを試みにあわせず、悪より救いいただいたまえ。国と力と栄えとは、限りなくなんじのものなればなり。アーメン

お知らせ

- ・2025年の「私の御言葉」を作しましょう！
- ・主日礼拝前半の「子ども説教」への出席をお待ちしています。
- ・教会に来られない時は、LINEを利用して家庭礼拝をおさげしましょう。

*賛美
*祝福
後奏

36 いまでかけよう

八木浩史牧師

<せいしょ>

26 さて、主の天使はフィリポに、「ここをたつて南に向かい、エルサレムからガザに下る道を行け」と言った。そこは寂しい道である。27 フィリポは出かけて行った。折から、エチオピアの女王カンダケの高官で、女王の全財産の管理をしていたエチオピア人の宦官が、エルサレムに礼拝に来て、28 帰る途中であった。彼は、馬車に乗って預言者イザヤの書を朗読していた。29 すると、霊がフィリポに、「追いかけて、あの馬車に寄り添って行け」と言った。30 フィリポが走り寄ると、預言者イザヤの書を朗読しているのが聞こえたので、「読んでいることがお分かりになりますか」と言った。31 宦官は、「手引きしてくれる人がなければ、どうして分かりましょう」と言い、馬車に乗って一緒に座るように、フィリポに頼んだ。32 彼が朗読していた聖書の箇所はこれである。「彼は、屠り場に引かれて行く羊のように／毛を刈る者の前で黙っている小羊のように口を開かない。33 いやしめられて、その裁きも行われなかった。誰が、その子孫について語れるだろう。彼の命は地上から取り去られるからだ。」34 宦官はフィリポに言った。「どうぞ教えてください。預言者は、誰についてこう言っているのですか。自分についてですか。誰かほかの人についてですか。」35 そこで、フィリポは口を開き、聖書のこの箇所から説き起こして、イエスについて福音を告げ知らせた。36 道を進んで行くうちに、水のある所に来たので、宦官は言った。「ここに水があります。洗礼を受けるのに、何か妨げがあるでしょうか。」38 そして、車を止めさせた。フィリポと宦官は二人とも水の中に入って行き、フィリポは宦官に洗礼を授けた。39 彼らが水の中から上がると、主の霊がフィリポを連れ去った。宦官はもはやフィリポの姿を見なかったが、喜びに溢れて旅を続けた。40 フィリポはアゾトに姿を現した。そして、すべての町を巡りながら福音を告げ知らせ、カイサリアまで行った。

<さんび>

さあ、ともにいきよう

1. さあともにいきよう しゅはこのじだいの
くるしみとなやみを になってくださる
2. さあともにいきよう しゅはちをおとずれ
ひとびととであわれ きょうだいとなった
3. さあともにいきよう しゅはいのちかけて
あたらしいじゆうの みちをしめされた
4. さあともにいきよう しゅはうえたものに
そのみをパンとして あたえてくださる
5. さあともにいきよう しゅはせいれいにより
わかたれたたみをも ひとつとなされる

きけよ、あいとしんりの

1. きけよ、あいとしんりの しゅのものがたりを、
よのつみをのぞく しゅのみことばを、
しゅのみことばを。

* (くりかえし)

- やがてときはきたる。へいわのひかりの
くまなくよをてらす あしたはきたる。
2. あおげ、あがないのしゅを、よのためくるしみ
とこしえいのち あたえたイエスを、
あたえたイエスを。 *
3. うたえ、つくられたもの すべてこえあわせ
よるこびあふれる さかえのうたを、
さかえのうたを。 *